

延岡フィールド（水産実験所）の紹介

延岡フィールドは、本学キャンパスの所在する宮崎市から北へ約 100 km 離れた延岡市赤水地区に位置しています。

フィールド施設には、学生実験室や研修室、宿泊室のほか、実習船や飼育設備が整備されています。

施設の目の前には海が広がっており、この宮崎沿岸の多様な海洋生態系や水産現場を活用した学生教育と研究活動を行っています。

また、子供から大人までを対象に、海洋の魅力や水産業の大切さを発信する会貢献活動を展開しています。



連絡先（窓口）

〒889-0517 宮崎県延岡市赤水町 376-6

宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター 延岡フィールド（水産実験所）

TEL: 0982-37-0327 FAX: 0982-37-0327 E-mail: field@of.miyazaki-u.ac.jp

こちらの QR コードで
水産実験所の
ホームページへ
アクセスできます



延岡フィールドで行われている研究

水産資源を効率よく殖やして、育てる

フィールドでは、研究によって明らかにされた「魚類の発生、成長、生殖や環境に適応する仕組み」を応用して、「水産資源を効率良く殖やし、育てる」こと、つまり、魚類をはじめとする水産生物を自然に比べて、「より早く、より大きく、より多くの子どもを産ませる」技術を開発し、その成果が実を結び始めています。

宮崎県の山間部で養殖されるブランド魚、五ヶ瀬ヤマメ（上）を海で育てると、「みやざきサクラマス」と呼ばれる巨大ヤマメ（下）に成長させることができます



みやざきサクラマス

宮崎のブランド魚に

宮大大学院の上野が、大学発ベンチャー起業へ

「みやざきサクラマス」は、五ヶ瀬川産のヤマメを海で育てると、成長が速く、大きくなる。これは、海の水質とヤマメの遺伝子特性が関係している。この研究成果を基に、大学発ベンチャー「株式会社Smolt」が創業した。この会社は、みやざきサクラマスの生産と販売に取り組んでいる。また、この研究成果は、他の魚類の養殖にも応用できる可能性がある。これは、水産資源の持続可能な利用に貢献する。また、この研究成果は、地域の産業振興にも貢献している。これは、地域経済の活性化に貢献している。また、この研究成果は、環境保護にも貢献している。これは、持続可能な社会の実現に貢献している。

夕刊デイリー
2018年12月12日

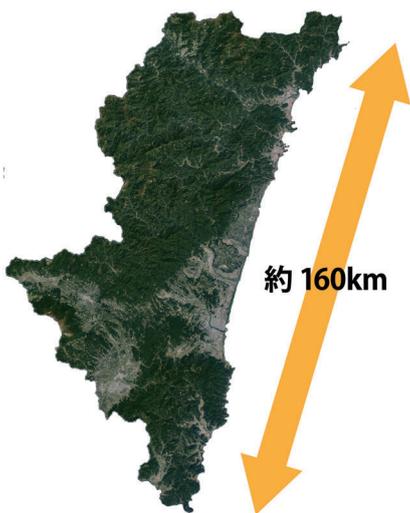


私たちの研究成果が大学発ベンチャーの起業化に繋がりました

宮崎県沿岸の環境と生物多様性の関係を解明する

九州の東岸は、南北およそ 200 km と長く、その大部分が宮崎県（約 160km）になります。この海岸線には、河口干潟や砂浜海岸、岩礁と多様な自然環境が分布しています。

フィールドでは、宮崎県沿岸を中心に、こうした沿岸環境と生物多様性の関係の解明に取り組んでいます。



延岡市沿岸におけるアユ仔稚魚しちぎよの資源に関する調査
(宮崎県水産試験場との共同調査)

延岡フィールドで行われている教育

農学部の海洋生物環境学科の学生を主な対象として、延岡市赤水地区の豊かな海を活用した各種の実習を通し、海洋生物から海洋環境、養殖についての教育を行っています。

魚類をはじめとした海洋生物の基礎を学ぶ



大学1年生の実習では、干物の作り方から魚類の採血方法まで、幅広く学びます

フィールドで海洋の世界を学ぶ



シュノーケリングによる観察



干潟の調査実習



磯での採集実習



実習船くろしお丸での海洋調査実習

海洋の生物や環境の知識と魅力をつたえる



実習で学生が採集した生物を展示する



地元の魚のカルタの企画と製作

延岡フィールドの社会貢献活動

延岡フィールドは、所在する赤水地区の豊かな海洋生態系と海洋生物を活用して、海と水産業の魅力の発信から食育まで、幅広いテーマで、児童生徒から一般市民を対象とした社会貢献活動を展開しています。

海の魅力の発信



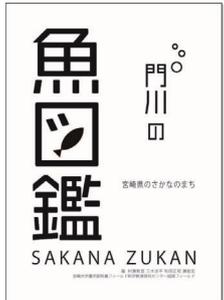
延岡フィールド水族館



延岡市街なか水族館



クサフグ産卵観察会



地元（門川町）の魚の魅力を伝える図鑑を出版
※ふるさと納税の返礼品に採用されました

門川の魚の「かるた」を学生が企画製作しました

地域水産業への貢献と水産資源を活用した食育の展開



宮崎の海が育んだ
みやざきサクラマス



みやざきサクラマスの養殖



公開講座
「魚のさばき方を学び、味わおう！」